

次の震災について 本当のことを 話してみよう

● 講師

名古屋大学減災連携研究センター所長

福和 伸夫氏

過去の地震による歴史の変化を学ぶと共に、
現代社会の不都合を昨年の災害から学び、
現状をどのように変えれば、この災害を克服できるか
温故知新で、「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」
「災い転じて福となす」を実現したい。

2019

11.17

入場無料

定員▶先着500名

★入場申し込みは不要です。

SUNDAY 13:30開場 14:00~15:40

スターツおおたかの森ホール

★聴覚障害の方への手話通訳、要約筆記も行います。

★講演の撮影・録音はお断りします。

〈スケジュール〉 13:30 開場
14:00 開会
15:40 終演予定



つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン
「流山おおたかの森」駅北口より徒歩1分

- ① 東武バス 西柏03、06系統
「流山おおたかの森駅東口」下車
- ② 東武バス 西柏07系統・南流02系統
- ③ 京成バス 流01、02、03系統
- ④ ぐりーんバス
②～④「流山おおたかの森駅西口」下車

※駐車場はございませんので、公共交通機関でのご来場を
お願いいたします。

名古屋大学減災連携研究センター所長

福和 伸夫 氏

1957年生まれ、名古屋市出身。

名古屋大学教授・減災連携研究センター長、あいち・なごや強靱化共創センター長、工学博士、日本地震工学会会長、中央防災会議作業部会委員、地震調査研究推進本部政策委員長など。

専門は、建築耐震工学、地震工学、地域防災。

早期の耐震化を強く訴え、小泉純一郎政権時代には防災の国民運動作りの原動力となった。「自然災害は防ぐことは出来ないが、その被害を減らすことはできる」という信念のもと、研究のかたわら、耐震教材を多数開発し、全国の小・中・高等学校などで「減災講演」を続けている。巨大な建物を実際に揺らすことのできる世界に類をみない研究・展示施設、名古屋大学「減災館」はその結集とも言える。

著書

- 次の震災について本当のことを話してみよう。

＜時事通信出版局＞

- 必ずくる震災で日本を終わらせないために。

＜時事通信出版局＞